|  |
| --- |
| 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 株式会社〇〇 | 代表者 | ○○〇〇 |  | 法人・  事業所  の特徴 | 当法人は那覇市を中心に地域密着型サービスを展開しており、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で生活を送れるようサポートしていきます。  このうち小規模多機能型居宅介護では、事業所都合ではなく、サービスの基本理念である利用者ごとのニーズに応じた「通い・訪問・宿泊」の柔軟な提供を心掛けています。 |
| 事業所名 | 小規模多機能型  ホーム〇〇 | 管理者 | 〇〇〇〇 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援  ｾﾝﾀｰ | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 0人 | 2人 | 0人 | 8人 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
| Ａ．事業所自己評価の  確認 |  |  | 経験年数の関係もあるが、職員間での対応力に違いがある印象。ミーティングや介護記録などを通じて同様のサービス提供が望まれる。 | ミーティングを通して利用者情報について密に申し送りを行い、状態変化にも対応できる体制づくりを行う。 |
| Ｂ．事業所の  しつらえ・環境 |  |  | 住宅街に位置しているため、車や商業施設からの騒音は気にならないが、付近に看板などがないため場所が分かりにくい。 | 事業所に辿り着くまでの沿道数ヶ所に看板を設置して、迷わず事業所へ到着できるようにする。 |
| Ｃ．事業所と地域の  かかわり |  |  | 事業所近くには幼稚園や学童クラブがあり、行事ごとのイベント交流が図られている。 | これまで実施している交流について、利用者及びご家族以外の地域住民にも参加してもらい、事業所を知ってもらう機会とする。 |
| Ｄ．地域に出向いて  本人の暮らしを  支える取組み |  |  | 利用者がお住いのご近所さんとの交流や、通いなれたお店での買い物支援などもできたらいいと思う。 | 訊き取りを通して、利用者ごとの地域資源を見つけ、それらを活用する。 |
| Ｅ．運営推進会議を  活かした取組み |  |  | 運営推進会議で発言した意見について、次回会議時に配布される議事録にてそれを受けての対応が記載されている。 | その後の対応について、構成員から意見を頂戴し、今後の事業所運営に活かす。 |
| Ｆ．事業所の  防災・災害対策 |  |  | シナリオを作成しての避難訓練が実践されており、職員や利用者さんが真剣に取り組んでいるのが良かった。 | 前回とは内容を変更し、あらゆるケースに想定した避難訓練を実施する。 |